

2022年度 和楽器実技の履修希望申請について

※副科実技ではありません。

※学部生以外は申請出来ません。

来年度大学院在籍予定者が教職科目として履修を希望する場合は、来年4月の大学院生向け科目等履修生申請期間に
原則、後期開設科目を申請してください。

(申請期間は来年3月に公開される学事暦を確認してください。また、大学院生はフォームでの申請ではなく、教務係宛てにメールで履修希望科目を申請する方法になります。)

履修希望申請方法

< STEP1. >

2022年度「和楽器実技」受講希望者は、本掲示の注意事項に留意して履修希望受付期間内に「2022年度【和楽器実技】履修希望申請フォーム」より申し込んでください。

なお、今年度履修希望を出した楽器に関し、「和楽器実技履修辞退願」を提出せず履修放棄した者、試験を受験しないものに対しては、以後、和楽器実技の履修を認めません。

○受付期間：2021年11月3日（水）16:00～11月12日（金）16:00

○申請フォーム掲載場所：藝大HP> 学生生活> お知らせ> 音楽学部・研究科> 2022年度 副科実技・専攻外古楽・和楽器実技・邦楽科尺八専攻副主専攻流派について

※全員必ず第3希望まで入力してください。

※1人1回のみ申請可能。一度申請した科目は、変更や修正はできません。（2回以上申請があった場合、最後の申請のみ有効とします。）

※履修希望受付期間後の追加受付は一切出来ません。

< STEP2. >

履修が認められた科目は、来年度（2022年度）4月の履修登録期間にCampus Planで忘れずに登録してください。

「2022年度【和楽器実技】履修希望申請フォーム」で申請をしただけでは履修登録は完了しません。

CampusPlanでの履修登録が出来ていなかった場合、当該和楽器実技楽器の2022年度の履修はできません。

全体注意事項

○和楽器実技は、教職のために設けられた科目であるため、複数履修することは出来ません。（全年次を通して、1つのみ履修可）

○2022年度に2年次以上である者の履修科目です。

○履修できる科目は、下記の「開設予定科目一覧」によります。

○履修希望者が多い場合は、抽選等を行う。抽選結果は、後日掲示するので、必ず確認すること。

○授業内容については、2022年度シラバスを参照のこと。ただし、担当教員及び開講日時は変更になることがある。

○長唄三味線は初回授業時にパチ等の購入費として6,600円徴収する。

箏曲生田流履修者は初回授業時に箏爪購入費として5,800円徴収する。

○履修希望申請後の、自己都合による取消は認めません。ただし、やむを得ない理由により履修辞退を希望する場合は、「和楽器実技履修辞退願」に所定事項を記入の上、副科実技担当教員の承認・署名を得た後、教務係へ提出してください。この手続きを経ずに履修を放棄したもの、試験を受けないものは、以後、和楽器実技の履修を一切認められなくなります。

■和楽器実技履修辞退願掲載場所：

藝大HP> 学生生活> お知らせ> 音楽学部・研究科> 2022年度 副科実技・専攻外古楽・和楽器実技・邦楽科尺八専攻副主専攻流派について

【教職課程について】

教職課程の「教科に関する科目」のうち「和楽器実技」および「日本の伝統的な歌唱」については、それぞれ以下の科目の単位を取得した学生は履修する必要があります。

■「和楽器実技」が免除される科目

副科長唄三味線、副科常磐津三味線、副科清元三味線

副科邦楽囃子（笛）、（小鼓）、（大鼓）、（太鼓）

副科箏曲（山田流(箏又は三絃)）、

副科箏曲（生田流(箏又は三絃)）

副科尺八

副科能楽囃子（笛）、（小鼓）、（大鼓）、（太鼓）

副科雅楽

■「日本の伝統的な歌唱」が免除される科目

副科長唄、副科常磐津、副科清元

副科能楽（観世流）、副科能楽（宝生流）

2022年度開設予定科目一覧	開講学期	備考
和楽器実技（長唄三味線）	前期（予定）	月曜 5限（予定）
和楽器実技（邦楽囃子・小鼓）	後期（予定）	月曜 5限（予定）
和楽器実技（山田流箏曲Ⅰ）	前期（予定）	木曜 3限（予定）
和楽器実技（山田流箏曲Ⅱ）	前期（予定）	水曜 4限（予定）
和楽器実技（生田流箏曲Ⅰ）	後期（予定）	金曜 4限（予定）